

この度は本商品をお買い上げいただきありがとうございます。末永くご愛用いただくために、この「施工要領書」をよくお読みいただき正しい施工をお願いします。なお、商品到着後は、すみやかに検品をお願いいたします。本体に傷、付属品の不備などがございましたら、商品到着後10日以内にご連絡ください。

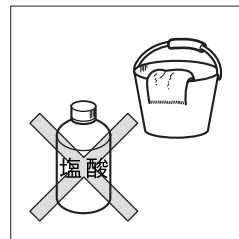
⚠ 施工上のご注意

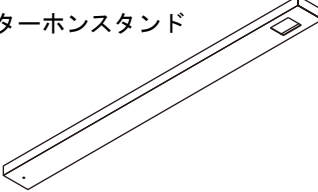
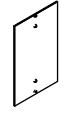










- 商品に傷をつけないようご注意ください。
(傷は錆びの原因となりますのでタッチアップ塗料等で必ず補修を行ってください。)
- 傷などの補修方法はお問い合わせください。
- 取付場所が通行のさまたげにならないか、十分に確認してください。
- 本体の前面に、ホース等で直接水をかけないでください。
- 商品の施工に関しては必ず「施工要領書」に従ってください。
- むやみに改造・変更をしないでください。
- ねじなどのゆるみがあるかどうか確認し、ゆるんでいる場合は

しめてください。

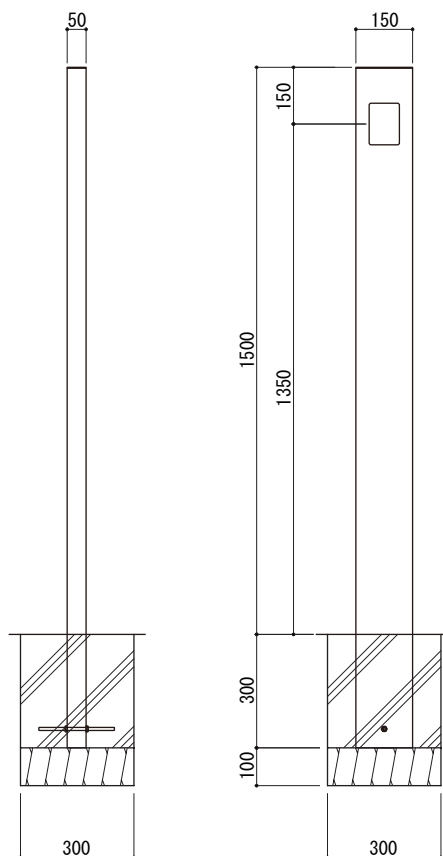
- 商品の塗装表面には、直接養生テープを貼り付けしないで下さい。
塗装剥がれの原因となります。
- 商品に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに清掃してください。
- 施工時の汚れ落としは、中性洗剤をご使用ください。

シンナー、塩酸などを使用すると、腐食の原因になります。



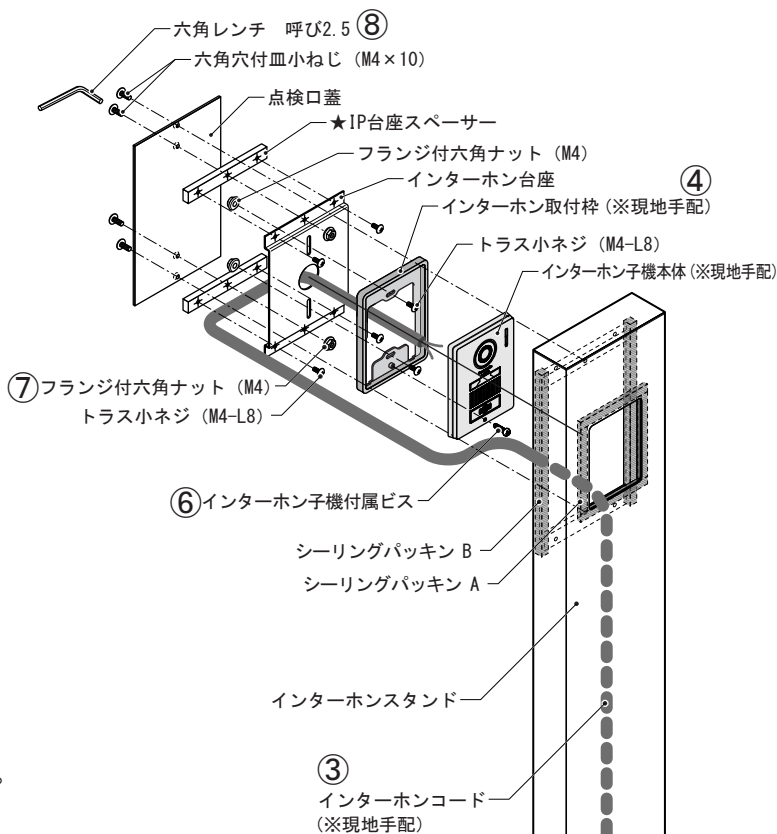
No.	同梱部品	数量
1	インターホンスタンド 	1本
2	点検口蓋 	1個
3	インターホン台座 	1個
4	トラス小ねじ (M4-L8) 	6個
5	フランジ付六角ナット (M4) 	4個
6	六角穴付皿小ねじ (M4-L10) 	8個
7	IP台座スペーサー (FB8×15) 	2本
8	シーリングパッキン A (5×10) 	4本 (2本2組)
9	シーリングパッキン B (10×10) 	2本
10	アンカー棒 (M8-L200) 	1本
11	六角ナット (M8) 	2個
12	六角レンチ 呼び2.5 	1本

■ 本体寸法図



■本体の取付

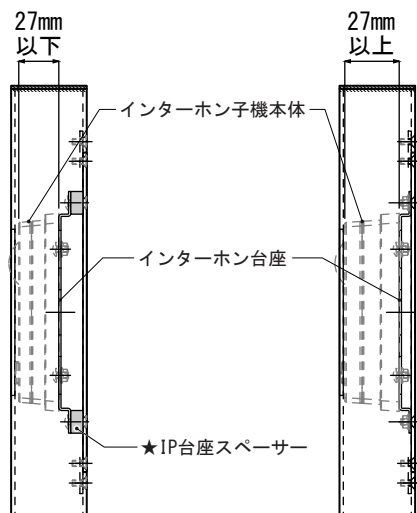
- ①アンカー棒 (M8×200) をインターホンスタンドに挿入し、六角ナットM8で固定してください。
- ②PF管 (※現地手配) を挿入してください。
- ③PF管からインターホンコード (※現地手配) を通してください。
- ④インターホン取付枠 (※現地手配) をトラス小ねじ M4×10とフランジ付六角ナットM4でインターホン台座に取付けてください。
- ⑤インターホンコードをインターホン子機本体に結線してください。
- ⑥インターホン子機本体をインターホン取付枠に取付けてください。
★インターホン子機の奥行寸法が27mm以下の場合は同梱の[インターホン台座スペーサー]をご使用ください。(下図参照)
- ⑦点検口蓋にインターホン台座をトラス小ねじM4×10で適切な穴位置に取付けてください。
- ⑧背面インターホンカバーを六角レンチを使用して六角穴付皿小ねじM4×10でポールに取付けてください。
- ⑨インターホンスタンドをコンクリートモルタルで固定します。



インターホンサイズ別取付参考図

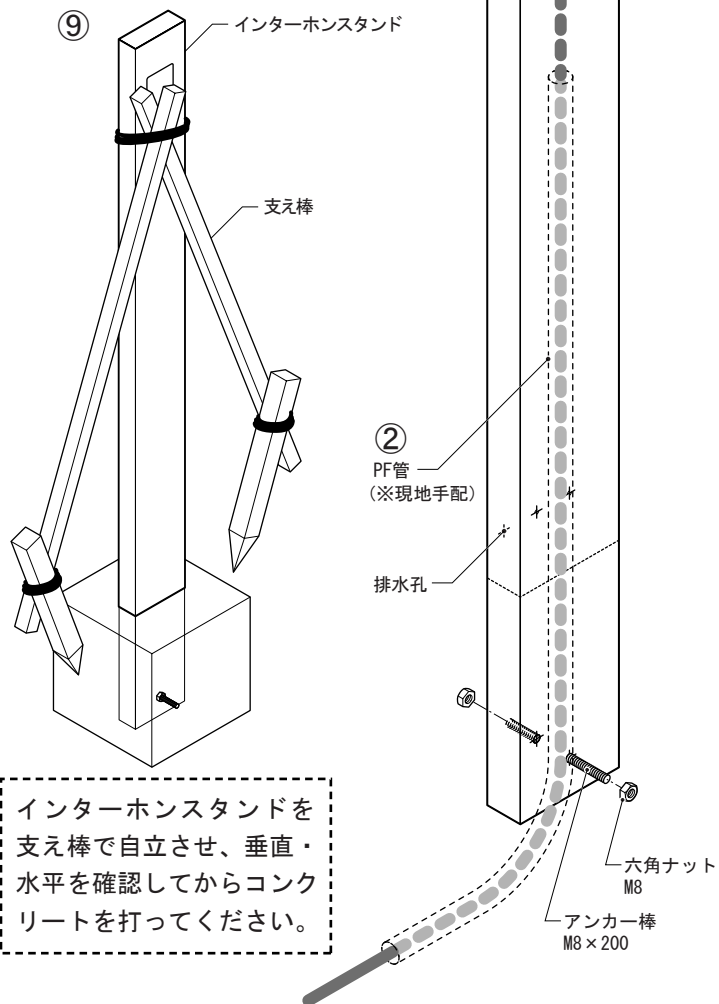
●インターホン奥行が
27mm以下の場合

●インターホン奥行が
27mm以上の場合
(※最大 36.5mmまで)



⚠️ ご注意

- ねじを固定するさいは、電動工具による締めつけは本体破損の原因となりますのでしないでください。
- コンクリートを打つ際は排水孔がG.L.より下に埋まらない様にしてください。(推奨G.L.より50mm以上)
- 本体にホース等で直接水をかけないでください。インターホンの故障の原因となります。



インターホンスタンドを支え棒で自立させ、垂直・水平を確認してからコンクリートを打ってください。